

# 南信州広域連合第5回広域連合会議 結果報告

日時：平成26年8月8日(金)15:50~16:48

場所：長野県飯田合同庁舎 502・503 会議室

## 1 開 会…15:50

【出席者】14市町村長（泰阜副村長）

〔下伊那地方事務所〕有賀所長・松田副所長・丹羽地域政策課長

〔飯田保健福祉事務所〕佐々木所長

〔飯田建設事務所〕山岸所長

〔町村会〕牛久保事務局長

〔飯田広域消防〕桂消防長・関島消防次長

〔飯田環境センター〕米山事務長

【事務局】渡邊事務局長・吉川事務局次長・北原事務局次長補佐兼庶務係長・秦野事務局次長補佐兼広域振興係長・下島介護保険係長・片桐庶務係主事

## 2 広域連合長挨拶

本日所用のため欠席されているが、無投票で再選された泰阜村長には改めてお祝い申し上げます。今後ますますのご活躍を期待する。

リニアについては、環境影響評価の段階を終えて、秋に向けて事業認可の手続に入っていくものと思われる。地域にとって、リニア、あるいは三遠南信の時代を見据えた地域づくりが重要になってくる。広域連合としては、郡市民を交えた基本構想・基本計画についての検討を進めており、後ほどその経過も説明させていただく。暑い夏が続き、これから台風が近づくという心配もあるが、地域づくりについて広域連合会議の中で議論できればと思う。

## 3 刈谷ハイウェイオアシス（株）から

…澤田取締役の挨拶及び説明

・このような場を設けていただき感謝申し上げます。刈谷ハイウェイオアシスがオープンして10年が経過した。南信州広域連合には一番最初からお世話になり、各地区の特産品等を紹介してきた。刈谷地区は、南信州と非常に深い関係があり、獅子舞も毎年上演され大変好評である。

・この先の10年を考えた中で、今後は更に各地区の特産品、生鮮野菜なども取り扱いたい。各自自治体を回らせていただきたいと考えているので、「何ができるのか」をお互いに探りながら、刈谷ハイウェイオアシスを活用して欲しい。

・オアシスファーム単体では、年間15億の売上がある。その内4億5千は魚だが、残りは野菜や加工品であり、お客様に大きな支持をいただいている。南信州と今一度絆を強くして、地産地消、地域活性化に役立ちたいと考えている。

【質疑なし】

## 4 日本赤十字社下伊那赤十字病院から

…松本事務部長の挨拶及び説明

・日頃から、赤十字の活動等に御理解と御支援をいただきお礼申し上げます。毎年、各市町村の皆様の御尽力により、赤十字の活動に多額の資金を寄せていただいていることについても感謝申し上げます。本日は、当病院の職員が、地域に出て活動する取組の一端を紹介させていただく。

・当病院は、地域に必要な医療を提供することはもちろんのこと、赤十字病院として、救急法や病气予防等の講習会を通じて住民の健康維持・増進のための地域支援をすることも大きな役割であり、資料にあるような講習会や出前講座を行っている。地元松川町以外でも、要請があれば可能な限り対応して

いくので、ご相談をいただきたい。

**【質疑なし】**

5 消費生活センター設置に係る説明

…長野県県民文化部 逢沢消費生活室長の説明

・これまでも飯田市にはお願いしてきたが、今回はもう少し広域的な観点での設置についてご理解いただくためのお願い。現在、長野県下では11市で消費生活センターが設置されている。特殊詐欺を含めた消費者被害が深刻であり、住民の身近なところで相談できる利便性の向上、消費者行政の役割分担という観点から、各市、あるいは広域の皆様へ設置をお願いしている。

・業務区分について、市町村は一般的な苦情相談、あつせん。県は広域的な観点からの苦情相談という役割が法によって決められている。設置について、市町村は努力義務、県は義務。

・県下市町村の消費生活相談の現状として、平成26年4月現在、広域単位での取組は実現していないが、それを含めて県全体を市町村のセンターでカバーできる体制に持っていきたい。相談分担率については、全県で33.0%が市町村のセンター、67.0%が県のセンターとなっているが、全国平均では68.0%が市町村のセンターでの受付である。

・市町村それぞれの事情及び財政的負担が大きいことから、広域での取組をお願いしたいと考えている。24年5月末現在、全国で74の広域的な取組が行われている。

・県の支援内容としては、協議会設置への支援や参加、補助金という形で設置に係る費用等を10分の10、及び相談員の費用等も助成する。技術的には、支援員や相談員による助言等を実施している。

・広域的な取組方式は3つ。「中心市集約方式」は、中心自治体に相談業務を集約するもの。各自治体に窓口を設置するが、相談員は中心市に置く。この方式は、74事例中26箇所採用。啓発のみでの採用も14箇所あり計40箇所。「事務組合方式」は新たに設立、又は既存の広域連合に設置する方式。全国で4箇所、広域では2箇所採用。「相互乗入方式」は、各市町村に相談員を置き、曜日を決めて開設する。18箇所採用。相談員が巡回する方式を採用している所もある。

・設置に向けた検討をお願いしたい。

**【質疑】**

・長野県における市町村への相談割合は、全国割合の半分ということか。

→そのとおり。(全国68%、長野県33%)

**【結論】** 聞きおくこととされた。

6 協議事項

(1) 基本構想・基本計画の策定について(資料1)

…資料による説明(渡邊事務局長)

・7月12日に開催した第5回策定委員会の概要について。基調講演として、インバウンドを専門に行う(株)やまごころの代表取締役である村山氏を招き、観光に限らず外国の方が日本の何に着目しているのか、外部から見たときの魅力という観点でお話いただいた。分散会では、基本構想に繋がるテーマを設けて話し合いを行った。

・8月2日の第6回委員会では、構想をまとめるための話し合いを行った。構想の柱となる候補についていくつか示したが、まとまる段階ではない。本日の前段の部会で、考え方等について説明させていただいたが、原案という段階には達していないため、次回の策定委員会で議論を進め、連合会議に諮る中でまとめていきたい。

・平行して、リニア将来ビジョンにある「守るべきもの、備えるべきもの」について、それらに繋がる一つの考え方として、選出の委員さんを中心に「わがまちのベストテン」の選定をお願いしている。次回の連合会議にはそのことも含めてお示しし、基本構想の原案をまとめていきたい。

**【質疑なし】**

(2) 次期ごみ処理施設整備の状況について（資料2）

…資料による説明（米山事務長）

- ・7月24日に生活環境影響調査結果・評価報告書の縦覧が終了。25日に意見書提出等の公告を実施。8月14日まで受け付ける。
- ・18箇所での縦覧に対し、縦覧に訪れたのは12名、場所別縦覧数は資料の表にまとめたとおり。
- ・プロポーザルの日程について、8月15日に提案書の受付を締め切った後、事務局等で評価資料として整理した上で、9月の初旬と下旬に審査委員会を開催する。

【質疑なし】

(3) 平成27年度信州木曾看護専門学校学生募集について（資料3）

…資料による説明（吉川事務局次長）

30名の募集定員の内、約半数を推薦入試で募集する。その一部として、地域特定推薦枠が設けられている。南信州、木曾、上伊那の各広域連合で各1名の推薦を依頼されており、当広域でも推薦したい。募集期間、推薦に係るスケジュールについては、資料のとおり。

【質疑なし】

(4) 熱中症疑いによる救急搬送の状況について（資料4）

…資料による説明（関島消防次長）

- ・5月19日から8月7日まで、81日間の状況。
- ・救急搬送人員は48人で昨年比19人減。年齢区分では、少年1人、青年20人、65歳以上の高齢者27人。発生場所区分では、屋内21人、屋外27人。
- ・気象庁発表の1か月予報では「気温が平年より高い」とされており、今後も熱中症の発生が予測されるため、注意喚起に努めていく。

【質疑】

- ・人類の抵抗力が落ちており、熱中症にかかりやすくなっているように思うが、消防としての見解は、→防ぐための注意喚起を促していく。
- 昔に比べ、冷房等により汗をかくトレーニングができない状況にある。温度変化に体が追いついていないということ。（飯田保健福祉事務所長）

(5) 刈谷ハイウェイオアシスにおける獅子舞の上演について（資料5）

…資料による説明（秦野事務局次長補佐）

10月19日に開催予定である「南信州獅子舞フェスティバル」のプレイメントとして、9月27、28日に刈谷ハイウェイオアシスにて獅子舞の上演を行う。午前午後併せて7、8回の上演予定。今後、募集のあった団体と調整していく。

【質疑なし】

(6) 広域連合議会第2回臨時会の概要について（資料6）

…資料による説明（吉川事務局次長）

- ・第2回の臨時議会を8月29日（金）午後2時から広域消防本部で開催する。8月5日に議会運営委員会を開催し承認をいただいた。
- ・報告案件1件は、平成25年度一般会計の繰越明許費繰越計算書の報告について。
- ・議案第11号は監査委員3人の中の1名が任期満了となったため新たに承認をいただくもの。
- ・議案第12号はグループホーム条例の廃止について。現在指定管理により運営されているグループホームを直接運営していただくためのもの。
- ・議案第13号は、財産の取得。今年度、広域消防でポンプ車2台の更新を予定しており、既に入札が完了している。
- ・議案第14号の補正予算については、次期ごみ処理施設の運営経費に係る債務負担行為の承認。

・資料裏面は本会議終了後に予定している全員協議会で協議する案件を記載。

【質疑なし】

(7) 後援依頼について（資料7）

…資料による説明（北原事務局次長補佐）

「成年後見制度講演会」 飯田市社会福祉協議会 10月15日（水） 県文化センター

【質疑なし】 後援が承認された。

(8) 南相馬市・飯田市災害時相互応援協定締結について

…牧野連合長の説明

・昨日、南相馬市の桜井市長をお迎えし、南相馬市と飯田市の災害時相互応援協定を締結した。部長である平谷村長に立ち会っていただいた。その後の昼食会では、出席が可能であった6町村長にもご出席いただいた。

・南相馬市は、人口約7万1千人中、いまだに2万3千人の方が避難生活を余儀なくされており、復興への道筋が立っていないとの話があった。広域連合としても、そうした状況を踏まえながらできる限りの支援をしていければと思う。

【質疑なし】

7 長野県から

(1) 下伊那地方事務所 有賀所長から

・8月に国の予算がある程度固まってくることを受け、9月に県の来年度予算の検討が始まる。昨年同様、地方事務所単位での施策提案制度があり、各地域でどのような事業が求められるのかを、知事を含めて部局長会議で発表しながら施策の参考にするというもの。

・昨年は航空宇宙産業を含めて2つの提案を行い、ある程度県の施策に反映されている。

・今年度、どのような施策提案をするのかについては、「地域戦略会議」の幹事会において意見を伺いながら固めていきたい。いまのところ、伝統芸能の継承に対する支援、シカ革の活用、市田柿の販売促進の3つの中で絞り込んでいきたいと考えているが、各市町村の課長等の意見を伺う中で提案していきたい。

・9月に幹事会を開催するが、決定した事項についてはこのような場で説明させていただく。

【質疑】

・今年度始まった「山岳観光」について、来年度以降も引き続きお願いしたいが。

→「山岳観光」は今年度の県の3つの施策の1つであり、その拡大や延長については施策提案ではなく、市町村の陳情等で固めていくものとする。県への要望については様々な方法があるので、棲み分けてやっていきたい。

(2) 飯田保健福祉事務所 佐々木所長から

・8月30日に恒例の防災訓練を行う。今年は実戦的に、平日の昼間に発災した場合に、どのように対応するのかを医療機関と考えていたが、その際に市立病院から提案があった。その内容は、「子供を持つ看護師が帰ってしまうと医療ができず困る。保健福祉事務所で対策を考えて欲しい。」というもの。

・長野県教育委員会では、資料の「市町村立小中学校における防災計画見直しの手引き」の中で、震度5強以上の地震が発生した場合、授業をすぐに打ち切り学校で預かることを原則とし、安全が確認

されてから父兄に引き渡すという基準例を示している。医療機関に限らず、企業や行政がBCPを作成する際に、学校で子どもを預かってくれれば仕事が続けられるということに繋がるので、是非ご確認を。教育事務所としては、各市町村教育委員会にお願いしてあるのでまず間違いないということだが、確認しておいて欲しい。保育園についてはまだきちんとしたことは決まっていないようだ。

**【質疑なし】** 各市町村で確認する。

## 8 その他

### (1) 南木曾町へのお見舞いについて

…吉川事務局次長の説明

7月17日、連合長が南木曾町役場へ直接届けたのでご報告させていただく。

### (2) 高森町長から

153号線の歩道の雑草が伸び、町民から「歩けない」との意見が町に上がってくる。住民とアダプト協定を結んでやってもらっている所もあるが、例えば「県ではやりきれないので、お金は出すから町でやってくれないか」と言ってくれば対応するが、どうしたらよいか。あくまでも県が実施するのを待った方がよいか。

#### **【回答】**

具体的な場所を言っていただければ対応する。ご存じの通り、これまでは直営の草刈り班がいたが、現在は委託になっており、それに係る費用が上乘せになっている。実施の頻度も3回だったものが2回になったりと落ちている。それでも必要な所は対処するので個別に言って欲しい。(飯田建設事務所長)

## 9 今後の日程

- 8月29日(金) 広域連合議会 飯田広域消防本部
- 8月30日(土)～31日(日) 南信州キャンペーン in 浜松
- 9月7日(日) 南信州キャンペーン in 豊橋
- 9月12日(金) 広域連合会議 合庁502・503

## 10 閉会…16:48